

# 研究報告

2015/11/27 M2 厚田耕佑

## 実施内容

### ・ファイバカップリング(出射側)

出口側のコリメートを行った。プローブ後のパワーは **35mW** であった。ニオブ酸リチウムのイメージを図 1 に示す。サンプルへの入射パワーは ND フィルターで **0.5mW** まで落とした。

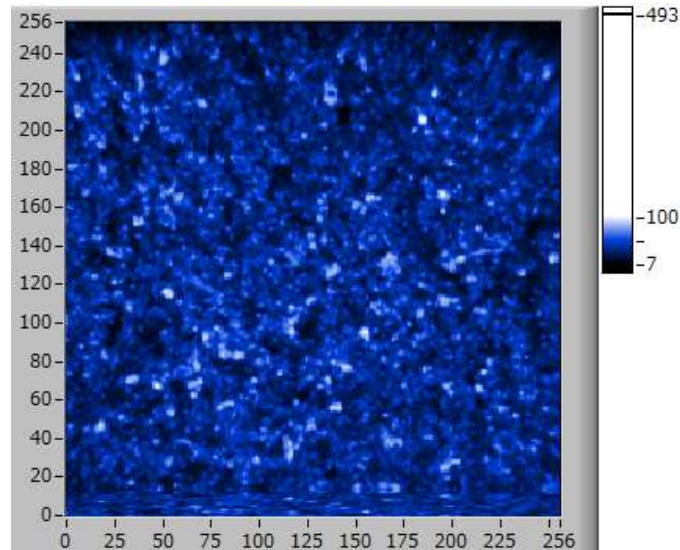


Fig.1 SHG イメージ

このとき、ガルバノ駆動電圧に 1V 程度のオフセットを与えるとイメージの中心に収まったため、パスがずれていると考えられるため、アライメントをやり直し、バイオイメージングなどを行う。

また、アタッチメントはステージ側(顎置き台)に取り付ける。3 軸の移動(手動)ができるようにする予定。完成次第、ヒトでのイメージングを行う。

## 今後の予定@計画表

ファイバデリバリー：素線ターミネータによりプローブとカップリング。

